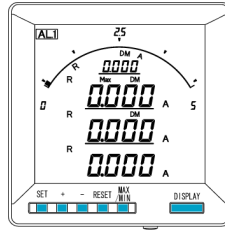


電子式マルチメータ
XSD2-110Aシリーズ
取扱説明書



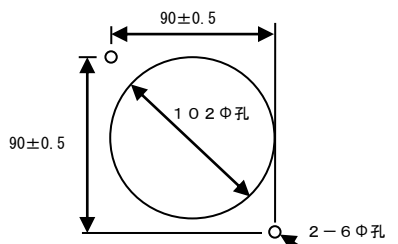
取扱説明書について
この取扱説明書は簡易版となっています。
詳細の取扱説明書については、ハカルプラス
Webサイトからダウンロードできます。
URL www.hakaru.jp

⚠️ ご注意

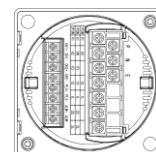
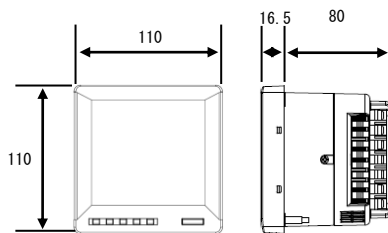
- ◇本体は精密機器ですので、落とさないようにして下さい。
- ◇本体を分解、改造はしないで下さい。
- ◇本体に雨水等が直接かからないようにして下さい。
本体の汚れ・ホコリ等を拭きとる場合は、乾いた布で拭きとって下さい。
汚れがひどい場合は、固く絞った濡れ雑巾で拭きとって下さい。
ベンジン・アルコール・シンナーは絶対に使用しないで下さい。
- ◇本体内部にごみ等が入る恐れがある作業を行なう場合は、本体にカバーをして異物が入らないようにして下さい。
- ◇本体を直射日光が当たる場所、温度の異常に高い場所・異常に低い場所、湿気や塵埃の多い場所へ設置しないで下さい。
- ◇端子台への配線は圧着端子を使用して確実に締めて下さい。
- ◇最大入力電流値以上の入力を加えないで下さい。
- ◇補助電源が停電時は表示は消え、出力が0になります。
- ◇活線状態では端子部に手を触れないで下さい。感電の危険性が有ります。
- ◇活線状態ではCT 2次側からの入力線は、決してオープン(開放)にしないように注意して下さい。
オープンにするとCT 2次側に高電圧が発生しCTを破損する原因となります。
- ◇電流入力端子のL側はアースに設置するようにして下さい。
- ◇本説明書には、オプション機能(御発注時の選択機能)もあわせて説明しています。搭載していない機能は設定無効または、設定できませんので、御考慮いただきお読みいただきますようお願いいたします。
- ◇製品、及び、説明書は、改善・改良のために予告なく変更する場合があります。御了承ください。
- ◇記載内容の詳細操作(設定)方法については「基本操作」、記載以外の操作(設定)方法については「拡張操作編」をご参照ください。

取付方法

盤穴あけ寸法は以下のとおりです。
また、前面パネルの下部に、設定値メンテナンス用のコネクタがあります。このため、メータの下部は50mm以上あけていただきますようお願いいたします。



盤穴あけ寸法(正面から見た図)

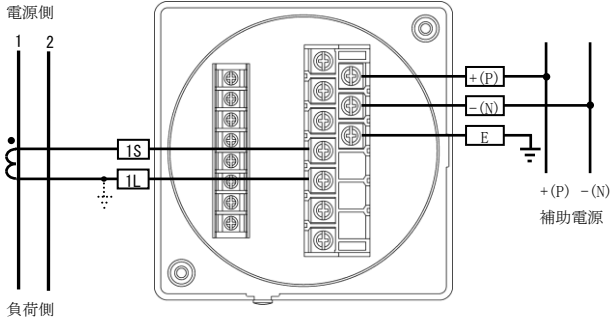


サイズ	端子幅
M4	8.5±0.5mm
M3	6.4±0.5mm

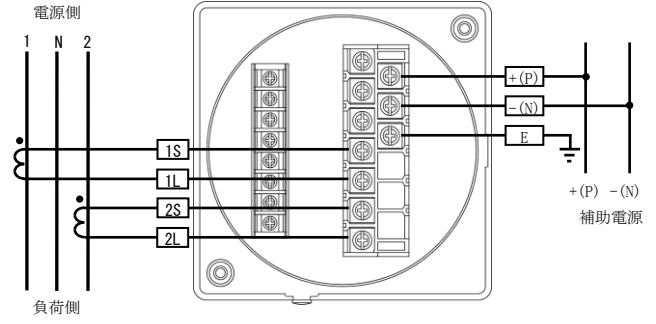
端子台の寸法(端子カバー付)

接続方法（例）

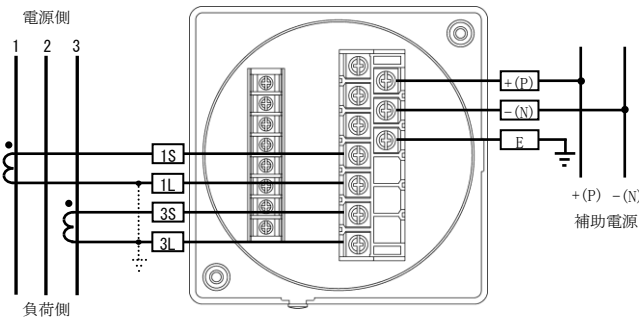
(1) 単相 2 線式の場合



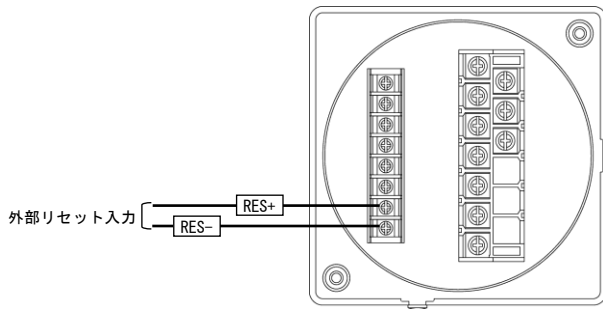
(2) 単相 3 線式の場合



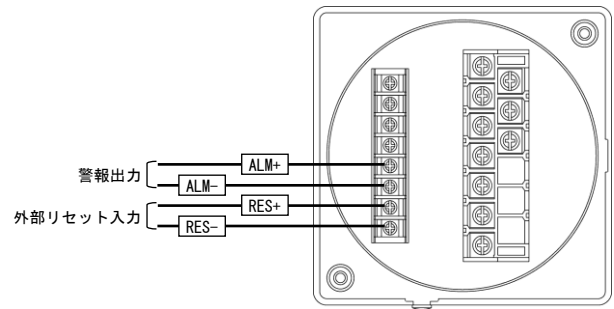
(3) 三相 3 線式の場合



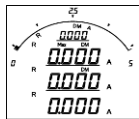
(4) 外部リセット入力×1の場合



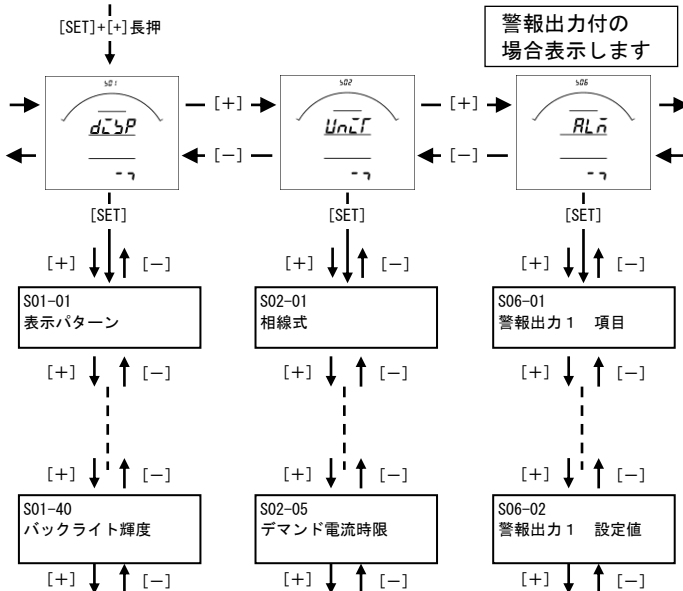
(5) 警報出力×1+外部リセット入力×1の場合



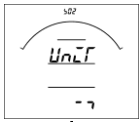
設定フロー



計測画面を表示している状態で、[SET]と[+]を同時に押し続けると、設定画面に切り替わります。
どの画面からでも、[DISPLAY]キーを押すと、計測画面に戻ります。



計測関係の設定方法



[SET]

[+] ↓ ↑ [-]

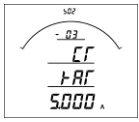


S02-01: 相線式

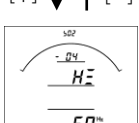
設定方法
 ①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)
 ②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。
 ③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

表示	設定値
1P2W	単相2線
1P3W	単相3線
3P3W	三相3線



[+] ↓ ↑ [-]



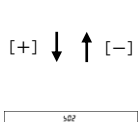
S02-03: CT一次側定格値

設定方法
 ①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)
 ②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。
 ③[MAX/MIN]を押し、4桁、3桁を変更します。
 ④[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

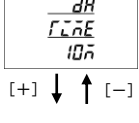
設定値

CT一次側定格

設定値
5A
10A
15A
20A
25A
30A
40A
50A
60A
75A
80A
100A
120A
150A
200A
250A
300A
400A
500A
600A
750A
800A
1000A
1200A
1500A
2000A
2500A
3000A
4000A
4500A
5000A
6000A
7500A
8000A



[+] ↓ ↑ [-]



S02-04: 使用周波数

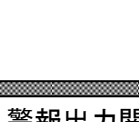
設定方法
 ①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)
 ②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。
 ③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

表示	設定値
60	60Hz
50	50Hz



[+] ↓ ↑ [-]



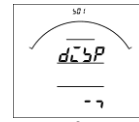
S02-05: デマンド雷流時限

設定方法
 ①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)
 ②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。
 ③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

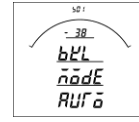
表示	時限	表示	時限
0S	瞬時	5M	5分
10S	10秒	6M	6分
20S	20秒	7M	7分
30S	30秒	8M	8分
40S	40秒	9M	9分
50S	50秒	10M	10分
1M	1分	15M	15分
2M	2分	20M	20分
3M	3分	25M	25分
4M	4分	30M	30分

表示関係の設定方法



[SET]

[+] ↓ ↑ [-]

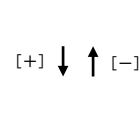


S01-38: バックライト動作

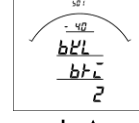
設定方法
 ①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)
 ②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。
 ③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

表示	設定値
AUTO	自動消灯
ON	点灯
OFF	消灯



[+] ↓ ↑ [-]

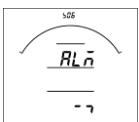


S01-40: バックライト輝度

設定方法
 ①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)
 ②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。
 ③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

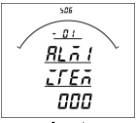
警報出力関係の設定方法

(警報出力付の場合表示します)



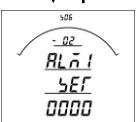
[SET]

[+] ↓ ↑ [-]



S06-01: 警報出力1 項目

設定方法
 ①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)
 ②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。
 ③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)



[+] ↓ ↑ [-]



S06-02: 警報出力1 設定値設定
 (定格の0%~100%の範囲で設定可能。一次側の値で設定。)

設定方法
 ①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)
 ②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。
 ③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定項目一覧

設定番号	設定項目	初期値	記載頁
S01-38	バックライト 点灯動作	AUTO (自動消灯)	3P
S01-40	バックライト 輝度調整	2	3P
S02-01	相線式	三相3線	3P
S02-03	C T一次側定格値	5.000A	3P
S02-04	使用周波数	60Hz	3P
S02-05	デマンド電流時限	10分	3P
S06-01	警報出力1項目	000 (無)	3P
S06-01	警報出力1設定値	0	3P

設定についての注意事項

本メータでは、下記設定値を変更すると、他の設定値を強制的に変更します。
下記記載の設定値を変更した場合は、「初期化される設定値」を再度設定し直してください。

影響を与える設定値		初期化される設定値			
設定番号	設定項目	基本操作設定		拡張操作設定	
S02-01	相線式	S06-01	警報出力1 項目		
		S06-02	警報出力1 設定値		
S02-03	C T一次側定格値	S06-02	警報出力1 設定値	S11-01	電流表示点減H (予定指針付)
				S11-02	電流表示点減L (予定指針付)
				S11-13	デマンド電流表示点減H (予定指針付)
				S11-14	デマンド電流表示点減L (予定指針付)
S06-01	警報出力1 項目	S06-02	警報出力1 設定値	S16-01	バーグラフ 電流 最大目盛

設定コード一覧

(1) 単相2線の場合

番号	項目	警報出力
000	無	○
011	電流	○
081	デマンド電流	○
091	最大デマンド電流	

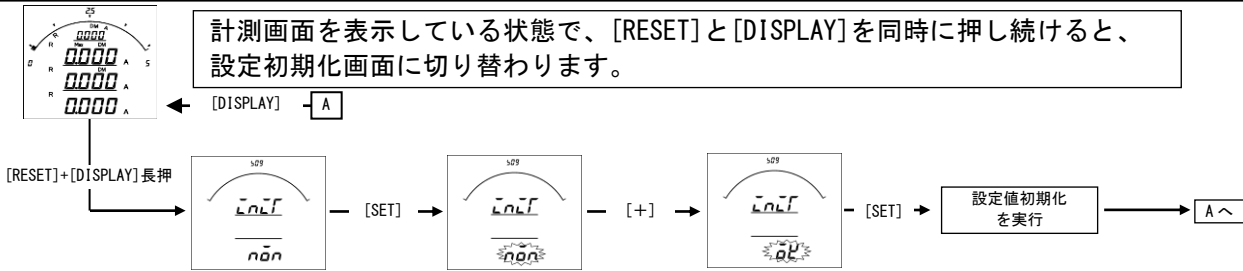
(2) 単相3線の場合

番号	項目	警報出力
000	無	○
010	電流	○ (最大相)
011	1相電流	○
012	N相電流	○
013	2相電流	○
080	デマンド電流	○ (最大相)
081	1相デマンド電流	○
082	N相デマンド電流	○
083	2相デマンド電流	○
090	最大デマンド電流	
091	1相最大デマンド電流	
092	N相最大デマンド電流	
093	2相最大デマンド電流	

(3) 三相3線の場合

番号	項目	警報出力
000	無	○
010	電流	○ (最大相)
011	R相電流	○
012	S相電流	○
013	T相電流	○
080	デマンド電流	○ (最大相)
081	R相デマンド電流	○
082	S相デマンド電流	○
083	T相デマンド電流	○
090	最大デマンド電流	
091	R相最大デマンド電流	
092	S相最大デマンド電流	
093	T相最大デマンド電流	

設定初期化

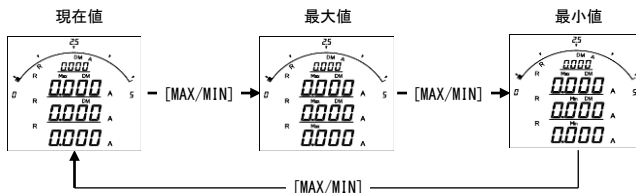


設定値の初期化について

- ・設定値の初期化を行うと、内部の設定値が4ページ記載の初期値に戻ります。
- ・設定値を初期化すると、各計測値の最大・最小値もリセットされます。
- ・各設定値が初期化されますので、現在の設定値を確認、控えた上で初期化を行ってください。

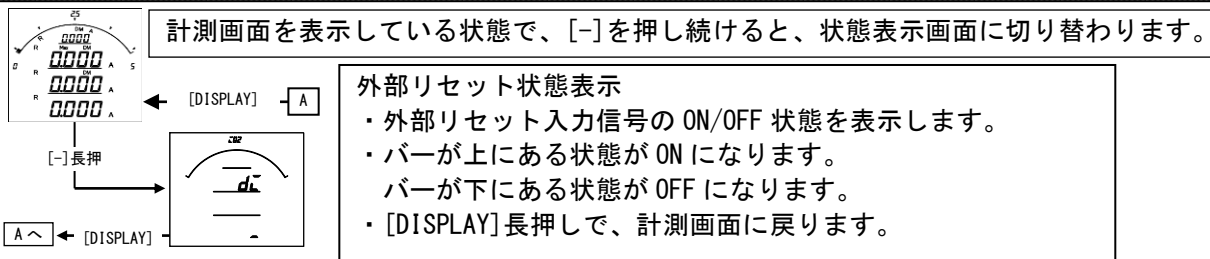
最大・最小表示について

計測表示・詳細表示中に、[MAX/MIN]を押すと、最大値・最小値を切替えて表示します。



計測画面を表示している状態で、[RESET]と[MAX/MIN]を同時に押し続けると、全ての計測値の最大値・最小値をリセットします。

外部リセット状態表示機能



テストモード

警報出力テストが、キー操作で行うことができます。
詳しくは、詳細取扱説明書（基本操作編）を参照してください。

設定値メンテナンス用ツール

専用ソフトをパソコンにインストールし、全面パネル下部のコネクタに専用ケーブルを接続することで、メータ内の設定値の読み込み、書き込みが可能です。
詳しくは、設定値メンテナンス用ツールソフトの取扱説明書を参照してください。

文字表示パターン

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	d	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	#	\$	/	SP
ℓ	L	n̄	n	ō	P	q	†	↳	Γ	U	U	ū	Y	Y	≡	∫	↳	↳	↳

品質・性能向上のため、記載内容はお断りなく変更することがありますので、ご了承下さい。

ハカルプラス株式会社

URL www.hakaru.jp

本社・工場 〒532-0027 大阪市淀川区田川3-5-11
TEL 06(6300)2112
FAX 06(6308)7766